

令和8年10月22日(木)

会場：長井ホール



日本薬学会医薬化学部会
創薬人育成事業



2026 創薬人育成塾

13:30 – 14:45

大塚製薬株式会社

佐々木 博文 先生

「古くて新しい病気“結核”への挑戦 — 多剤耐性肺結核治療薬 Delamanidの創製 —」

結核は再興感染症として世界中で問題視されていた。大塚製薬では1992年から本格的な新規抗結核薬の探索研究を行い、2001年に新規誘導体のOPC-67683＝Delamanidの合成に至った(2014年4月欧州医薬品庁(EMA)、同7月日本での販売承認を取得)。1994年にこの誘導体の合成研究に着手して、フェノタイプ創薬手法でDelamanidを発見・前臨床-臨床移行・2014年上市するまでの約20年間の足跡を、結核・低分子創薬の概要も含め紹介します。また、大塚製薬と弊社に於ける低分子創薬の源流となるCarbostyryl創薬についても紹介します。

15:00 – 16:15

エーザイ株式会社

西岡 大貴 先生

「膨大な分子から1つの薬へ — AI時代の低分子創薬」

低分子医薬品は、数多くの化合物の中から候補を見つけ、薬として望ましい性質を持つよう少しずつ改良することで生み出されます。本講義では、低分子創薬の基本的な流れを紹介するとともに、AIやデータ解析が、より良い化合物を選び出すためにどのように活用されているのかを解説します。また、AIにできること・できないことを通して、これからの創薬における薬学の知識や研究者の役割についても考えます。

16:30 – 17:15

講師の先生を囲んでのフリーディスカッションの場を設けます。創薬に携わりたいと思う人は是非ご参加ください。

佐々木先生(第3講義室)、西岡先生(第5講義室)

連絡先 徳島大学薬学部 創薬有機化学分野 井貫 晋輔

E-mail: sinuki@tokushima-u.ac.jp